

## NGO 相談員出張サービス実施報告書

1. 企画名：国際協カステーション 2015（形態：相談対応サービス）
2. 実施者：佐藤 瞳、大豊盛重（(公社) 日本国際民間協力会）
3. 日 時：2015 年 9 月 12 日（土）、13 日（日）

（11 時 00 分～18 時 00 分）

4. 場 所：京都府国際センター オープンスペース（京都府京都市）
5. 参加者：計 15 件 17 人（12 日 10 件 12 人、13 日 5 件 5 人）

### 6. 実施報告：

#### <実施内容>

京都最大の国際協カイベント「国際協カステーション 2015」に国際協カキャリア相談コーナーを設け、弊会相談員の佐藤と大豊が相談対応サービスを行なった。事前予約制でイベントウェブサイトや京都府国際センターなどで相談予約を受け付け、2 日間で 15 件 17 人が相談コーナーを利用した。相談内容をキャリアや進路に絞ったため、相談者は大学生が中心となったが、高校生や転職を考える社会人、国際協カを志す大学生の保護者やフリーターからの相談もあった。

#### 当日の主な相談内容

- ・国際貢献ができる職業について
- ・国際協力を勉強するためのお勧めの本を教えてください
- ・海外の大学院への進学とその後の進路について
- ・英語の学習方法について
- ・国際協力団体のスタッフの待遇について
- ・将来 NGO で就職するには
- ・紛争の後に元兵士の社会復帰をサポートする NGO を立ち上げたいなど

#### <所感及び効果>

相談者は学生が中心で、国際協力業界への就職や海外の大学・大学院への進学、英語の学習方法などに関する相談が多く見られた。後から本人が参照できるよう、資料やウェブサイトを紹介しながら、相談員の経験を踏まえた具体的なアドバイスを心がけた。国際協力業界へ転職を希望されている社会人や NGO への就職を目指すフリーターなど、実際に人生の決断を目前にされている方には、特に慎重に相談対応を行なった。

国際協力業界への就職の第一歩として、青年海外協力隊を希望する相談者が数人見られたため、隣に出展していた JICA ブースを案内し、青年海外協力隊 OB からより詳しい話をしていただいた。JICA ブースの訪問者が相談員ブースへ紹介されて来ることもあり、お互いに得意分野を生かしながら連携して対応

できた。各県の国際協力推進員と交流を深める良いきっかけにもなった。

1件につき30分の相談時間を取っていたが、次の予約が入っていない場合はそのまま時間を延長して相談に対応した。質問事項が複数にわたる相談者とは、最長で1時間半以上話し込むこともあり、1日中時間が空くことなく、常に誰かがブースにいる状態だった。

事前予約制だったが、相談者が来ないケースが2日間で5件ほど発生したため、空き時間には飛び入りの相談も受け入れた。今後は、お茶を出したり、何か簡単な作業をしながら話をできる形式にするなど、さらに飛び入りで相談しやすい雰囲気づくりや工夫を検討したい。

来場者アンケートでは、「楽しくて1時間ほど長居しました。」「とても勉強になりました。」「勉強をもっとして、将来一緒に働きたいと思った。」という感想が見られた。

#### <活動風景（写真記録）>

